

# 白岡八幡さま

発行  
白岡八幡神社  
〒349-0218  
埼玉県白岡市白岡889-1  
社務所  
TEL.0480-48-5118



白岡八幡神社

令和六年初詣も白岡八幡さまに  
懐かしい想い出と新しい想い出作り

あと一カ月で令和六年のお正月を迎えますが、皆様は、毎年どのようにお正月をお過ごしでしょうか。白岡八幡神社の周辺では新しい住居が建ち新世帯が次々と増えていきますので、白岡八幡神社の初詣と催しについて紹介します。住み始めて数年、まだ白岡八幡さまの鳥居を潜ったことのない方もこの機会にお立ち寄りください。

一月一日深夜零時、本殿で大



大晦日深夜の参道に並ぶ



交通整理を頑張りました



授与所は大変忙しい

太鼓が鳴り響き、それまでに鳥居の先まで列をつくっていた大勢の方の参拝が始まります。それから正月三が日、早朝から夕刻まで参拝の列が続きます。混み合いましたら交通整理を致しますので協力願います。尚コロナ禍による分散参拝奨励もあつて参拝日をずらす方も多数おられます。

お神札には神様が宿っています。ご家族や個人として昇殿しての「年頭祈願」をご希望の方は社務所でお受けします。お申し込みください。

お神札には神様が宿っています。ご家族や個人として昇殿しての「年頭祈願」をご希望の方は社務所でお受けします。お申し込みください。

拝殿前での参拝後は、順路に沿って境内の摂社・末社の参拝

神楽とは神前で演じられる音楽や歌舞のことですが、神楽殿において巫女舞、お囃子、大太鼓、獅子舞、大正琴、能舞などが奉納されますのでご覧下さい。

令和二年冬からの新型コロナウイルス感染拡大は三年に亘り巫女舞の皆さん、お囃子の皆さんの活動

を長いお休みにしました。令和五年に入り新型コロナウイルスは感染症5類へ移行になるなど新たな局面となり、白岡八幡神社においても、六月夏越の大祓え、九月「縁日」、十月秋季大祭において何年かぶりに巫女舞、お囃子、太鼓の皆さんの奉納に接し拍手を送ることが出来ました。令和六年のお正月、神楽殿での晴れ姿に熱い応援をお願いします。

白岡に長くお住まいの方はよく「昔は一の鳥居から先まで露店が並んだものだ」と話しますが、とてもそのようにはなりません。皆様の想い出の想いだしとお子様の想い出作りにお出でください。

## ◆神職雑感

日頃、神社の護持にご協力いただきまして有難うございます。とりわけ、コロナウイルス禍の中、氏子、皆様方のご理解のもとで神事を予定通り斎行できましたことに厚く御礼申し上げます。

神社は地域の皆様の心のよりどころ、氏神様として崇められ

てきました。神様と人との関りは、鎌倉時代の法律「御成敗式目」に「神は、人の敬ひによって威を増し、人は神の徳によって運を添ふ」とあり、神様は人の崇敬の誠を受けることによつてその神威を増し、人はその神様のご神徳によつてその人としての良いめぐりあわせを与えられるとあります。

また神社では「有職故実」という言葉があります。有職故実とはものの由来を知り、意義を覚り用途を明らかにすることで神社の尊厳を増し、崇敬の向上をも得ることもできる。要約すれば、時代の潮流に流されることなく、古儀伝統を重んじていくことかと思えます。

心に決めてご参拝される方、散歩途中でご参拝される方々、気持ちよくお立ちより出来ますよう神事の充実、神社の整備に努めてまいりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



野原朋之禰宜

# 多くの人が足を運んだ 新イベント「縁日」

九月一七日、白岡八幡神社の新イベント「縁日」を開催し、三連休の中日でしたが地域の多くの皆様に足を運んでいただきました。

イベントの内容は、巫女舞やお囃子、世話人会が準備した射的やスーパボールすくい、焼きそばチキンナゲットの他、沢山のキッチンカーを揃えましたが、夜の火花まで大変賑わっていました。  
また今回の「縁日」運営に当たっては、白岡中学校の生徒や白岡西



揃いのTシャツで頑張りました



美味しくできました



どのテントも親子でいっぱい、長い列ができました

後も活気ある神社であり続けるためにも、我々関係者一同は皆様に親しまれる神社運営をしてまいります。  
これからも白岡八幡神社をよろしく願っています。  
(世話人会会長 神田博之)

# 美しく清らかに「御製歌」の舞を奉奏

いま白岡八幡神社の巫女舞が神様に奉奏している舞は「浦安の舞」といいます。奉奏とは舞を奉納することです。  
昭和天皇の御製

「天地の神にそいのる朝なきの  
海のごとくに波たたぬ世と」

という世界平和を願う大御心を詠まれたお歌を頂いた舞です。  
神楽殿で厳かに美しく清らかに舞う巫女舞は白岡八幡神社の春、秋の大祭を始めとする神事の華でしたが、令和二年春からの新型コロナウイルス



ロナ感染拡大は巫女舞の活動にも大きく影響し三年間奉奏をお休みすることになりました。多くの人の期待に  
お応えし今年に入り練習を始め、六月末の夏の越の大祓の神事で久しぶりに舞を

奉奏し多くの方に喜ばれました。引続き九月に八幡さま縁日、一〇月秋の大祭で大きな拍手を頂きました。次は令和六年お正月で奉奏させて頂きます。  
白岡八幡神社の巫女舞の始まりは、一六年前の平成一九年です。現在は小学三年生から高校三年生までの一〇名で活動しています。練習は基本毎月第三土曜日に行っています。会員を募集していますので関心を持たれた方はご連絡の上、見学なさってください。  
(講師 青木茂美さん)

# 圧倒される「お囃子」の演奏



「白岡こどもお囃子会」は平成十五年六月に四名でスタートしました。年々仲間が増え令和五年八月までに延べ八二名が入会しています。現在は十二名で活動を行っています。私は、お囃子会が

出来てから四年後の平成一九年に入会しました。小学三年生でした。仲の良い友人と同じ習い事をしたかったということが入会のきっかけでしたが、初めて先輩方の堂々とした演奏を見た時、お囃子の魅力に圧倒され私も先輩方のように人を感動させる演奏が出来るようになりたいと強く思ったことを今でも覚えています。  
社会人となってからもお囃子に対する気持ちは変わらず、後進を育成する立場として活動に参加させていただいております。

小さい締め太鼓中心の演奏はもちろんのこと、難易度が高い大きい宮太鼓中心の演奏も現在は行っており、観覧してくださる方がより満足感を味わえるものとなっております。今後もお囃子会の活動を通じて地域社会に対する貢献に取り組んでいきたいと考えております。  
(講師 田中双葉さん)



田中双葉さん

### 「清掃ボランティア」をしてみました

令和五年五月から新型コロナウイルス感染症も5類に分類され、いろいろなイベントや行事が再開されるようになりました。そういった中で娘の通っている中学校に、八幡神社の境内清掃をボランティア活動でやりませんかと声を掛けさせて頂きました。学校側も快く受け入れてくれ、年四回の清掃ボランティアを実施することとなりました。

最初生徒たちは竹箒の扱い方もわからず、神社の総代、世話人さんたちが教えることになり、いい交流になりとても良いボランティア活動となりました。

生徒たちに、ボランティアに参加してよかったことを聞きました。生徒たちの声は、◎先輩や神社の方、友達と協力して掃除をするのは気持ちが良い、◎地域の人と協



竹箒と中学生

力して昔からの神社を守ることが出来た、◎新しい体験が出来たなどでした。(世話人 佐々木徹)

### 「コロナ禍の三年も舞い続けて頂いた寿獅子舞

この数年、年の初めに白岡八幡神社の神楽殿で「寿獅子舞」を舞うことが出来て感謝しております。

はご存じのことと思いますが「蜜柑」を用いて演技しております。是非、次の機会にはご確認下さい。変化しております。それから獅子頭で頭や気になる部位を噛ませて頂きますが、病気が良くなることも大願成就するとも云われています。

諸説ありますが、獅子舞は、一六世紀ごろに伊勢の国(三重県)で飢饉や疫病を追い払うため獅子頭をつくり産土神(うぶすなかみ)として祀り、獅子舞をさせたのが始まりと言われています。その後十七世紀に入り伊勢より江戸へ伝わり、悪魔祓いやこの世を祝う縁起物として江戸の町々で喝さいを浴び、全国に広まりました。

白岡笑福会は令和元年に発足しました。私は六五歳に泥鰌すくい

獅子舞は、それぞれの地方の風土・風習に適応した形で残っています。これが日本の古典民族舞踊の中で一番多いという所以だと思います。

私ども白岡笑福会「寿獅子舞」



片石さん 五十嵐基洪さん 佐藤 榮さん

得します。例えば、獅子舞、安来節を始め、一人手拭芸、二人手拭芸、ばか面笑福踊りなどです。この数年、コロナ禍でお祭りや行事が中止になりましたが、仲間の繋がりがあり現在に至っています。令和六年お正月では、引き続き白岡八幡神社の御神前で寿獅子舞をご奉納させていただき、皆様と新年を共に寿ぎたいと思います。(佐藤 榮さん)

### 白岡八幡神社の沿革を調べる

茶屋地区で生まれ育ち、子供のころには境内が遊び場で、生活の節目には参拝し、白岡八幡神社を心のよりどころにしてきました。

小さい頃、古くから白岡八幡神社について断片的に話を聞くことはあっても身近にある神社でありながら、詳しいことはほとんど知りませんでした。神社の世話人になったことをきっかけにして白岡八幡神社の沿革を調べ、理解を深めようと思いました。この調査は「白岡町の文化財」を中心として総代・世話人五名で実証的に調べることを基本としていきます。その一端を紹介します。

#### 《細井昇家文書の「白岡八幡宮略縁起」を読む》

最初は「白岡町の文化財」にも掲載されていませんが、白岡市教育委員会の細井昇家文書にある「白岡八幡宮略縁起」を読むことから始めました。細井昇家は茶屋地区に住んでいて幕末から明治の初めにかけて、この地区の名主でした。その家に保存されていたのが前述の「白岡八幡宮略縁起」です。「白岡八幡宮略縁起」には嘉永七年(一八五四)



七年(一八五四)

細井太兵衛と名があり、この方が書かれたと思われます。

これによると、嘉祥二年(八四九)に慈覚大師円仁が、仁明天皇の勅命を賜り草創したとあります。約千年前の出来事がこの時まで伝承されてきたものと推定できます。因みに、嘉永七年は日米和親条約が調印されたり、吉田松陰が密航に失敗したりした年です。

#### 《明治の「神仏分離」で 神主就任を申請》

明治になり神仏分離が行われ、それまで白岡八幡神社は正福院の別当でしたが、新たにここに神主がおかれることになりました。そこで当時の浦和県に、名主である細井藤内さんから複数回に渡り、今でいうところの神主就任のための申請書が提出されました。この文書も細井昇家文書にあり、翻刻してその経緯が明らかになりました。

#### 《慈覚大師円仁が 多くの寺院を開山、創建》

慈覚大師円仁が関係した寺院としては、山形の立石寺が貞観二年(八六〇)開山、平泉の中尊寺が嘉祥三年(八五〇)開山、毛越寺が嘉祥三年(八五〇)創建と言われ、これらの寺院と比較しても、白岡八幡神社は遜色のない歴史を持つことが分かりました。まだまだ始めたばかりですが、これからも一歩ずつ調査を進めたいと思います。(染谷 清総代)

# 旧 氏子崇敬会 を改め 「白岡八幡神社協賛会」が発足

白岡八幡神社では、神社の歴史と伝統を尊重し、神社及び氏子総代会の活動を支援して頂ける方を求めています。昨年までは、名称を「氏子崇敬会」として主に近隣地域の方に活動支援をお願いしておりました。発足して一〇年目を迎え、市内の人に留めず、多方面の方より更にご意見ご協力を賜りたく、「白岡八幡神社協賛会」(ファンクラブ)と改めて、様々の事業を計画すべく新たに発足致しました。

新しく会員としてご賛同いただきましたら、八幡神社の神事に伴う「秋季大祭」「歳旦祭」「例大祭」の案内を送らせていただきます。すでに「夏越の大祓い」そして新たに若年層の親子向けに「八幡神



6月の協賛会総会

社縁日」と名付けたお祭りの案内を六月と九月に送らせていただきました。

本年度最初の行事として「八幡神社協賛会総会」を六月にコミュニティセンターで開催した際は、旧「氏子崇敬会」の令和四年度決算報告などの議事後、アトラクションで「白岡笑福会」のコミカルな話術の作品を楽しみ、紙芝居では女性の演者のはきはきとした活舌の良さに引き込まれ、何年かぶりに見た芸事の懐かしさに感激された方が多かつたように感じられました。

九月に行われた「第一回八幡神社縁日」では、お子様向けに世話人が準備した各種のゲームや食べ物の出店や、神楽殿での和太鼓、



新しい青色の幟旗

お囃子、巫女舞などの催しがあり多方面に案内し周知を行った結果と思われませんが、思いもよらず多数の来社を頂きました。その後、神社の窓口にて「子供お囃子会に参加するには」「太鼓を経験したい」との要望や、「おみくじの文言は変わるのか」と今までにない質問を頂くなど神社を身近に感じていただいています。

以前、神社への来社を動機付けする「お宮と親子の集い」を開催していましたが、コロナ禍で無くなっていました。この度、若手世話人からの申し出で短い準備期間でしたが「縁日」実施の運びとなり、協賛会の理念に沿うことので協賛し協力することになりました。

協賛会では、一二月三日に昇殿参拝会を行い、ご参加の方に「家内安全・健康・事業繁栄」を祈願した守護札と社報「八幡さま」をお渡しします。なお、欠席の方には後日郵送させて頂く予定です。大祭時には法人会員・特別会員の幟旗を掲揚させて頂きます。是非とも協賛会の理念にご賛同ご入会いただけますようお願い申し上げます。

(責任役員 佐野俊介)

## 令和六年の祭事

一月一日	歳旦祭
一月一五日	お焚き上げ
二月二日	初午祭
二月一五日	祈年祭(たるま市)
三月一〇日	例大祭・駒寄祭
三月二五日	庚申祭
四月一五日	境内三峰神社例祭
四月二五日	境内日枝神社例祭
五月一日	防ぎ祭
六月三〇日	夏越しの大祓え (茅の輪くぐり)
七月二五日	阿夫利神社例祭 (灯笼立て)
八月一七日	阿夫利神社例祭 (灯笼崩し)
九月ころ	八幡神社縁日
一〇月二〇日	秋季大祭・灯笼祭
十一月二五日	境内天満神社例祭
十二月二九日	大祓え

(諸般の事情により変更することがあります。)

### 釜締め お札授与日程

◆日時  
二月九日・七日・八日・三〇日  
午前九時三〇分〜一六時まで

◆場所 八幡神社境内待合所

神棚をきれいにし御札を新しくして祀り替えることを総して「釜締め」と呼びます。

## 訃報

八幡神社代表役員宮司 関山興一儀  
かねてより療養中でしたが去る令和五年十一月二日深夜八十七歳にて永眠いたしました。ここに謹んでお知らせいたしますとともに、故人が生前賜りましたご厚誼に厚く御礼申し上げます。

## 八幡さまあれこれ

令和五年いろいろありました



参道にだるまが並びました



篠津小・西小の3年生が勉強に



駒寄神事に馬も参列しました



炎天下、茅を刈りました



茅の輪をつくります



夏越しの大祓え神職と巫女さん達



灯籠が輝く秋季大祭



久喜警察署・久喜地方防犯協会と連携、特殊詐欺退散を祈願した御朱印紙を配布しています。